



しらやま

白山小学校だより No.15

令和元年9月3日



いよいよ2学期のスタートです！



子どもたちの明るい笑顔と元気な声が、学校に戻ってきました。42日間という長い夏休みも終わり、いよいよ2学期のスタートです。この夏休み中、保護者の皆様はじめ地域の方々には子どもたちの生活を見守ってくださり、ありがとうございました。また、ラジオ体操やプール監視、子ども会球技大会の練習等でも大変お世話になりました。お陰様で子どもたちはこの夏休みに大きな病気やけがにあうこともなく、無事2学期を迎えることができましたことをとてもうれしく

思います。教職員一同、2学期も子どもたちのために日々の職務に取り組んでまいりたいと思いますので、保護者の皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

始業式では、1学期の終業式で話した「あ・し・た」（あいさつ・家族の一員として自分の仕事（お手伝い）をすること・夏休みにしかできない挑戦をして、楽しい思い出を作ること）について尋ねたところ、この3つともできた子がほとんどで、とてもうれしい気持ちになりました。

おもいやり算

（「+」は、） たすけあう

（「-」は、） ひきうける

（「×」は、） 声をかける

そして、（「÷」は、） わけあう

それは、人を笑顔にする算数、おもいやり算

ほら、やさしいでしょ（ACジャパンのCMより）

そして、秋という何事にも落ち着いて取り組める時期を迎えるにあたり、子どもたちが大きな力を発揮してくれることを期待して、「おもいやり算」を基にした話をしました。「+」は、助け合うことです。1人より2人、2人より3人と、力を合わせ、協力することで大きな力になります。「-」は、お手伝いを引き受けたり、人のいやがることを引き受けることで、相手にも自分にも喜びが生まれます。「×」は、困ったり悩んだりしている友達がいたら声を掛け合いましょう。「ふわふわ言葉」をかけることで、お互いの心が一つになれます。「÷」は、うれしいことがあったら喜び合い、悲しいことは分かち合いましょう。うれしいことは何十倍にも大きくなり、悲しいことは何十分の一になるので、悲しみは減りますよ。算数の四則計算ではかけ算・わり算優先の決まりがありますが、「おもいやり算」にはそれがありません。「おもいやり算」を行動に移して、ピンクの花（仲よしの花）がさらにあふれる学校になってほしいものです。

まだまだ残暑が厳しく暑い日が続きますので、栄養と水分をたっぷり補給し、十分な睡眠を心がけるようにもご指導をお願いいたします。



<リズムを早く取り戻そう>

<お勉強も始まりました>

<初日の給食は夏野菜カレー>